

平成 27 年度 評 価 シ ー ト

| | | |
|----|-----------------------------------|---|
| 1 | 施設の名称 | 那須スイミングドーム・余笹川ふれあい公園 |
| 2 | 指定管理者 名称 | 環境整備株式会社 代表取締役 齋藤 靖 |
| | 住所 | 栃木県宇都宮市岩曾町1333 |
| 3 | 指定期間 | 平成25年4月1日～平成30年3月31日（5年間） |
| 4 | 施設所管課 | 那須町教育委員会生涯学習課 |
| 5 | 履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等） | 協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。 |
| 6 | 利用状況、運営状況 | <p>平成27年度のスイミングドーム利用者は、51,904人で前年度より2,006人増となった。利用者の内訳は、町内が27,891人(53.7%)、町外が24,013人(46.3%)であり若干町内利用者が多い状況である。集客の取り組みとして、全日本自転車選手権等での臨時休館があったものの、昨年同様に夏休みイベントを前倒しで実施したこと等により、目標である5万人集客を達成することができた。</p> <p>運営面では、県トライアスロン協会主催によるキッズトライアスロン教室に対し、協力的に関わるなどの取り組みも行った。また、子どもから大人までを対象とした水泳教室や長期休業中を利用した短期子供水泳教室を引き続き実施し、利用者の拡大を図っている。余笹川ふれあい公園については、グランドゴルフや九尾まつり、全日本自転車選手権が行われるなど、前年比で大幅な利用者の増となった。</p> |
| 7 | 町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価 | 利用者アンケートを通年で実施しており、改善要望等に対応可能な事項については、早急かつ適切に対応している。施設整備や利用料等の改善要望もあるため、町として改善すべきものは検討し、対応したい。なお、余笹川ふれあい公園利用について、土・日曜日は、だれもが自由に公園を利用できるように、団体で行うグランドゴルフ等の利用は原則禁止にしてほしいとの要望があり、関係団体と協議を行い、グランドゴルフ利用は行わないこととしている。アンケート以外での改善要望も数件あり、社員研修を強化するなどして改善を図っている。 |
| 8 | 指定管理者の経理状況の評価 | 平成27年度の収支について、収入総額は72,423千円(内委託料45,036千円、売上金27,387千円)に対し、支出総額は70,471千円で、1,952千円の黒字となっている。主な要因としては、前年に燃料単価が高騰していたが、燃料単価が下がったことや燃料使用量減少等により光熱水費が減少し、支出額が減少したことが要因である。今後必要経費は大きな変動がないと考えられるため、入場料収入や自主事業等による収入増への取り組みが必要である。 |
| 9 | 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など） | 指定管理者更新3年目となったが、過去2年と同様に町と月次定例会を実施しており、事業報告はもとより問題点や利用者からの要望・改善事項等について話し合いを行い、速やかに対処するよう務めている。施設管理面では、施設の老朽化に伴う修繕等を町との協定に基づき積極的に実施しているが、平成8年開設以来21年が経過し、年々修繕が増加しているため、大規模な改修を今後検討する必要がある。 |
| 10 | 評価ランク | : C |
| | A : 非常に良好な施設の運営状況であった | D : やや課題のある施設の運営状況であった |
| | B : 良好な施設の運営状況であった | E : 課題のある施設の運営状況であった |
| | C : 普通の施設の運営状況であった | |

平成 27 年 度 評 価 シ ー ト

| | | |
|----|-----------------------------------|---|
| 1 | 施設の名称 | 那須町立図書館 |
| 2 | 指定管理者 名称 | 株式会社図書館流通センター 代表取締役 渡辺 太郎 |
| | 住所 | 東京都文京区大塚三丁目4番7号 |
| 3 | 指定期間 | 平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間) |
| 4 | 施設所管課 | 那須町教育委員会 生涯学習課 |
| 5 | 履行状況(町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等) | ・協定書、仕様書等にそって、業務は概ね予定どおり履行されている。 |
| 6 | 利用状況、運営状況 | <p>・平成27年度の開館日数は307日(前年比1日増)、入館者数は58,971人(前年比4,055人減)、貸出者数は18,160人(前年比235人減)である。1日当たりの平均にすると、前年度に比べ、入館者数は205.8人から191.9人、貸出人数は60.1人から59.2人、貸出冊数は364.1冊から359.3冊と減っている。入館者数の1日あたり13.9人の減少は、出入りを繰り返す児童の利用が減少したため。貸出冊数の1,120冊の前年比減は、学校からの意向で貸出し中止や貸出し回数を減らしたことによるものです。</p> <p>・「赤ちゃんタイム」や「切り絵教室」等、新規事業を開催し、どの事業も好評を得た。</p> |
| 7 | 町民(利用者)からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価 | <p>・利用者の高齢化が進んでいる状況から、大活字本や成人向け紙芝居の購入を行っています。今後も、高齢者利用を検討している。</p> <p>・情報通信技術の進展に伴いパソコンに加えてスマートフォンやタブレット端末の電子書籍貸出しサービスを検討します。</p> <p>・アンケートでは、スタッフのサービス等の満足度が高くなっている。しかし、障害者やお年寄りの足の具合の悪い方からのエレベーターの要望がある。図書館新設を検討する必要性がある。</p> |
| 8 | 指定管理者の経理状況の評価 | <p>・収入及び支出については、適正に処理されている。</p> <p>・図書購入費は、仕様書に明記されているとおり年間500万円が支出されている。</p> |
| 9 | 総括的な評価(課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など) | <p>・町と指定管理者は、毎月定期的に報告・検討会を開催し、情報交換するとともに問題点の改善を図っており、良好な関係にある。</p> |
| 10 | 評価ランク | C |
| | A:非常に良好な施設の運営状況であった | D:やや課題のある施設の運営状況であった |
| | B:良好な施設の運営状況であった | E:課題のある施設の運営状況であった |
| | C:普通の施設の運営状況であった | |

平成 2 7 年 度 評 価 シ ー ト

| | | |
|----|-----------------------------------|---|
| 1 | 施設の名称 | 那須町野外研修センター |
| 2 | 指定管理者 名称 | NPO法人 那須高原自然学校 理事長 小川 虹生 |
| | 住所 | 栃木県那須郡那須町大字高久甲5720番地 |
| 3 | 指定期間 | 平成27年4月1日～平成32年3月31日（5年間） |
| 4 | 施設所管課 | 那須町教育委員会生涯学習課 |
| 5 | 履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等） | 協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。 |
| 6 | 利用状況、運営状況 | <p>平成27年度の野外研修センターの利用者は、宿泊者が3,601人で対前年比290%、日帰り利用者が1,048人で対前年比116%、場内散策等も含めた延べ利用者（来場者）は5,078人で対前年比197%と大きく増加している。</p> <p>宿泊者が増加した大きな要因としては、インターネットキャンプ場検索サイト「なっぷ」に登録したことにより、町外から新規顧客が増加したことが挙げられる。</p> <p>また、日帰りデイキャンプ等イベントの告知強化及び地元育成会・子ども会等の積極的な誘致により町内からの来場者も増加している。</p> <p>運営面では、自然に囲まれた施設環境を活用した体験プログラムを積極的に導入し、野外研修センターの知名度も向上している。</p> <p>また、利用者の大幅な増加により、施設清掃・宿直等の業務も当初計画より増加したが、非常勤スタッフ・繁忙期スタッフを配置するなど必要に応じて運営体制を強化している。</p> |
| 7 | 町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価 | <p>利用者には毎回アンケートを実施し、改善要望等を緊急性と重要性により分類し、スタッフ全員で意思統一を図るなど適切に管理している。</p> <p>ソフト面の改善については、早急に対応しており、ハード面についてもトイレの洋式改修や外灯設置など、要望が多いものを優先的に改修している。</p> <p>なお、バンガロー入口階段腐敗など施設の老朽化により、利用者の安全に係る改善要望があるので、町と指定管理者の協議により計画的に修繕等を行う必要がある。</p> |
| 8 | 指定管理者の経理状況の評価 | <p>平成27年度の収支については、収入総額は15,006千円（内委託料8,818千円 売上金6,188千円）に対し、支出総額は14,952千円で、54千円の黒字となっている。収入としては、当初計画の売上金に対し、利用者が増加したことで大幅に増となった。しかし、利用者の増加に伴い、非常勤・繁忙期スタッフ等の人件費や施設故障等による修繕費の支出も増加している。今後は、利用者の更なる増加への取り組みを行うとともに効率的な運営方法を検討し、人件費等の経費抑制を図ることが望まれる。</p> |
| 9 | 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など） | <p>指定管理初年度であったが、延べ利用者が5,078人で対前年比197%と大きく増加しており、地元育成会等の受け入れも積極的に行い、検索サイトの利用等により、野外研修センターの知名度も向上している。</p> <p>課題としては、テントサイト使用料収入100円（町内利用者50円）に対し、それに伴う宿直の人件費が嵩むなど事業として成り立たない状況を勘案し、使用料の見直しや運営体制の効率化などを今後検討していく必要がある。</p> |
| 10 | 評価ランク | : B |
| | A : 非常に良好な施設の運営状況であった | D : やや課題のある施設の運営状況であった |
| | B : 良好な施設の運営状況であった | E : 課題のある施設の運営状況であった |
| | C : 普通の施設の運営状況であった | |

平成 27 年度 評価 シ ー ト

| | | |
|----|-----------------------------------|---|
| 1 | 施設の名称 | 那須町共同利用模範牧場 |
| 2 | 指定管理者 名称 | 株式会社 那須の農 代表取締役 岡田建史 |
| | 住所 | 那須町大字漆塚567 |
| 3 | 指定期間 | 平成27年4月1日～平成32年3月31日（5年間） |
| 4 | 施設所管課 | 那須町農林振興課 |
| 5 | 履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等） | 基本協定書、仕様書に基づき、年度ごとに事業計画を策定しており、事業実施及び施設管理等管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。 |
| 6 | 利用状況、運営状況 | <p>○延べ預託頭数については、99,533頭（前年度95,489頭）で前年度比4,044頭の増となり、内訳は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季放牧56,998頭(町内37,185頭(37.4%)、町外19,813頭(19.9%))(前年度比1,556頭増) ・冬季預託42,535頭(町内30,904頭(31.0%)、町外11,631頭(11.7%))(前年度比2,488頭増) <p>なお、全36牧区（約219.1ha）のうち13牧区（約69.1ha）（内訳：平成24年度から12牧区（約61.9ha）、平成25年度に1牧区（約7.2ha）追加）が利用自粛のため、平成24年度から肉用牛の受入を中止し、乳用牛のみの受入としていることから、利用自粛牧区の制限解除に向けて、平成26年度から吸収抑制対策事業を実施した結果、利用可能牧区は約169haまで回復しました。残る利用自粛牧区は9牧区45.2haとなりましたので、引き続き成28年度に同事業を実施し、全牧区利用可能とする予定です。</p> <p>○運営体制については次のとおりでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務処理分野では、町及び受託者双方共に業務引継ぎ時点において適切な準備がなされておらず、円滑な引継ぎが図られていなかった。しかし、年度中盤にはそれらへの対応が図られ、双方共に着実に改善がなされていました。 ・現場作業分野では、前年度までの従事者を中心に従事者を配置したことから、当初は大きな問題は見られませんでした。欠員が生じた際の補充が速やかに図られなかったことから、残留者（管理責任者や業務従事者）への負担が増大していたため、速やかな人員配置（補充）が必要であると感じました。 |
| 7 | 町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価 | 和牛農家からは肉用牛受入の早期再開に関する要望の声が来ていますが、吸収抑制対策事業完了後の牧草地の状況等を勘案し、徐々に改善を図る予定です。 |
| 8 | 指定管理者の経理状況の評価 | <p>平成27年度の収支については、収入総額は65,079千円（消費税抜額）（内訳：委託料18,510千円、使用料43,917千円、その他2,652千円）に対し、支出総額は51,128千円で、13,951千円の収益となっています。なお、消費税納税額は2,890千円でした。主な要因としては、人件費の大幅減によるものです。</p> <p>今後は、利用自粛牧区の制限解除後の肉用牛受入再開に伴う預託頭数の確保が望まれる。</p> |
| 9 | 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など） | <p>指定管理移行初年度ということもあり、円滑な移行とは言い難い状況でしたが、徐々に体制が整い、平成28年度は良好な運営を行える予定です。</p> <p>今後については、運営における問題点や改善事項、利用者の要望等を把握し、速やかな対処が出来る体制整備について、町と指定管理者が連携して務めたい。</p> <p>施設管理の面では、昭和43年開設以来47年が経過し、施設の老朽化による改修、修繕等の必要性が増加しているため、建替えや大規模改修等について検討する必要があります。</p> |
| 10 | 評価ランク | C |
| | A：非常に良好な施設の運営状況であった | D：やや課題のある施設の運営状況であった |
| | B：良好な施設の運営状況であった | E：課題のある施設の運営状況であった |
| | C：普通の施設の運営状況であった | |

